

# ヘブライ人、イスラエル人、ユダヤ人

ヘブライ人、イスラエル人、ユダヤ人は、基本的には同じ意味で用いられています。

## <1>ヘブライ人 (=ヘブル人)

ヘブライ人 (Hebrew) とは、セム語 (アラビア語・ヘブライ語・エチオピア語等) 系民族で「国境を越えてきたもの」「川向こうから来た者」の意味です。主に、アブラハムやイスラエル人が異民族に自分を紹介する際に用いた言葉です。

アブラハムは、聖書で最初にヘブライ人と呼ばれた (創世記 14 : 13)。

ヘブライ人 : 旧約聖書に 32 回 (聖句数は 32) 登場します→①旧約のヘブライ人 (PDF ファイル)  
 新約聖書に 3 回 (聖句数は 2) 登場します→②新約のヘブライ人 (PDF ファイル)

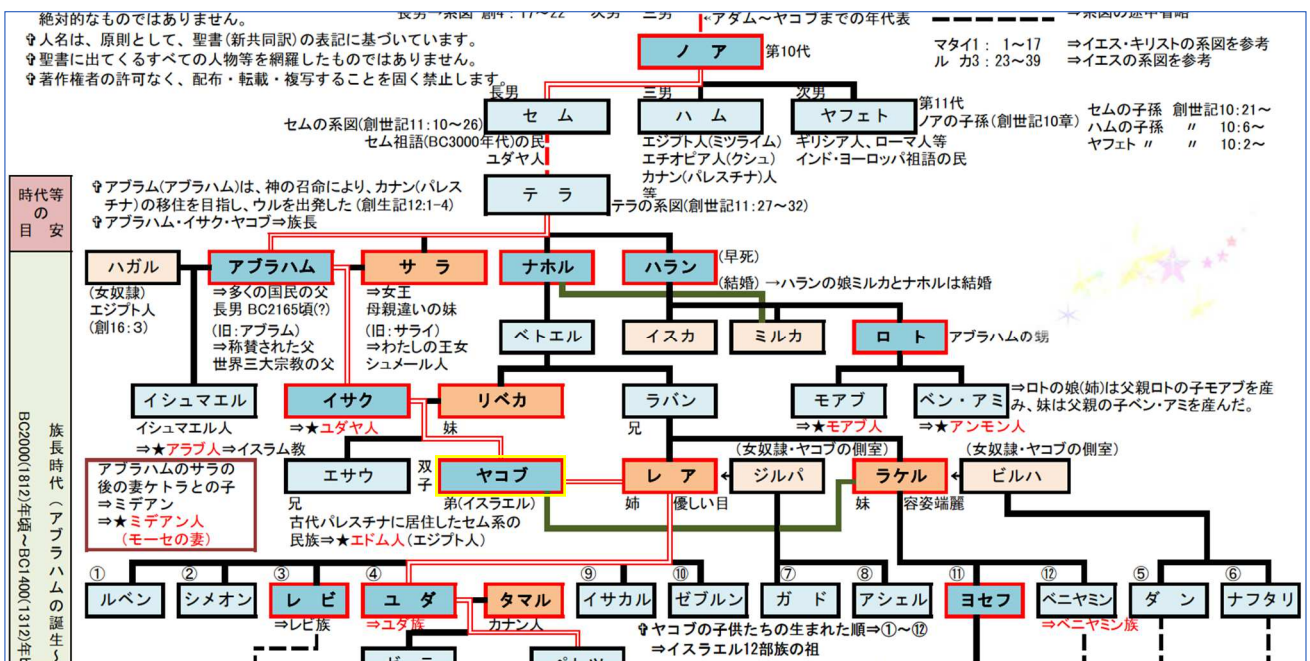
## <2>イスラエル人

イスラエル (Israel) とは、神がイスラエル民族の祖先であるヤコブに与えた名です。

→ (創世記 32 : 29) その人は言った。「お前の名はもうヤコブではなく、これからはイスラエルと呼ばれる。お前は神と人と闘って勝ったからだ。」

→イスラ (サラ) は「戦う、支配する」、「エル」は「神」という意味があり、イスラエルとは、「神が戦う」という意味になります。聖書的にはイスラエル人とはアブラハム、イサク、ヤコブの子孫のことです。

イスラエル人 : 旧約聖書に 91 回 (聖句数は 85) 登場します→③旧約のイスラエル人 (PDF ファイル)  
 新約聖書に 7 回 (聖句数は 7) 登場します→④新約のイスラエル人 (PDF ファイル)



出典 : 聖書 Navi 資料 (聖書人物略図の一部) ©H.Taniguchi

## <3>ユダヤ人

ユダヤ人 (Jews) という言葉は、最初はユダ部族の人々を指していました。それが、バビロン捕囚以降、イスラエル 12 部族全体を指すようになりました。12 部族はヤコブ (イスラエル) の 12 人の息子 (①~⑫) から出ました (上図参照)。

ユダヤ人 : 旧約聖書に 61 回 (聖句数は 51) 登場します→⑤旧約のユダヤ人 (PDF ファイル)  
 新約聖書に 217 回 (聖句数は 199) 登場します→⑥新約のユダヤ人 (PDF ファイル)